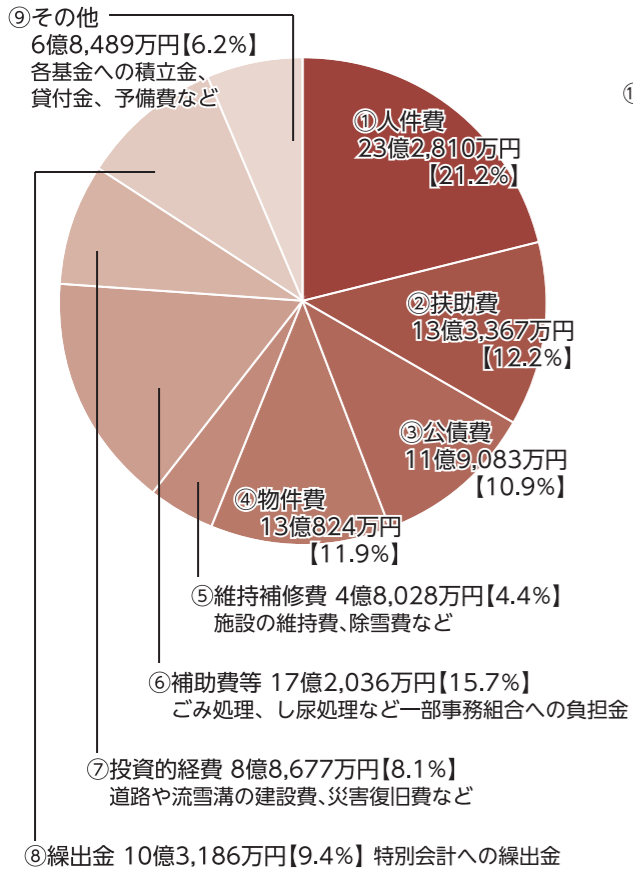
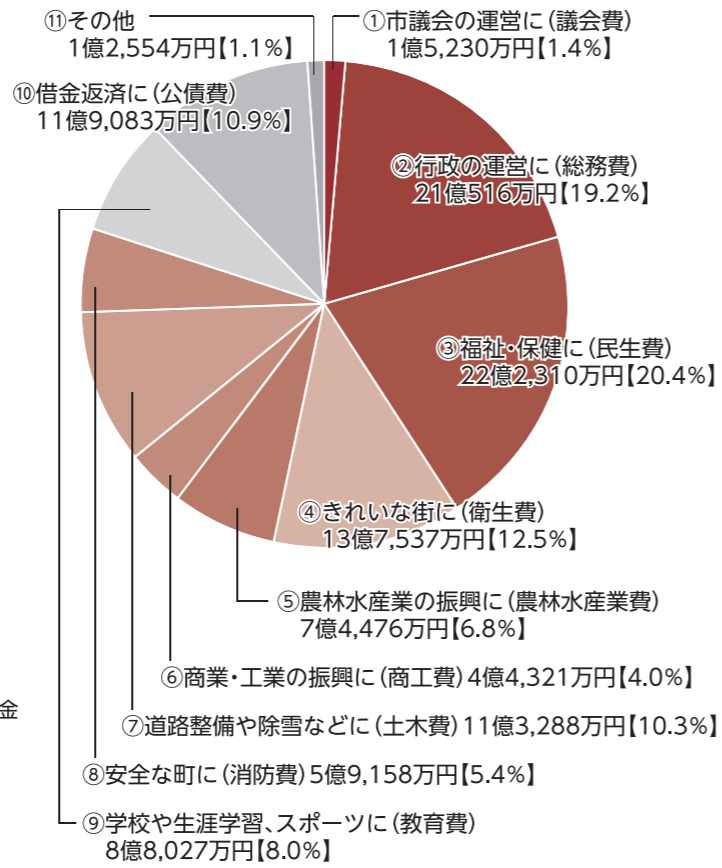


# 歳出

## 【性質別】



## 【目的別】



## 特別会計予算 47億7,606万円

特別会計とは、国民健康保険税や簡易水道の使用料などの収入を財源として、特定の行政サービスを行うための予算です。

区分	令和3年度予	前年度との比較
一般会計	109億6,500万円	3億500万円
特別会計	国民健康保険	19億2,089万円 ▲ 1億2,162万円
	中央診療所	4億1,045万円 ▲ 4,830万円
	簡易水道	2億3,744万円 ▲ 2,564万円
	国営村山北部土地改良	55万円 0万円
	農業集落排水	8,423万円 ▲ 78万円
	介護保険	19億1,620万円 ▲ 1,313万円
	後期高齢者	2億630万円 476万円
合計	157億4,106万円	1億29万円

## 一般会計 市民一人当たりの予算は……約72万円

- ①福祉の充実……145,978円
  - ②環境・保健・医療の向上……90,312円
  - ③農・工・商・観光の振興……78,007円
  - ④道路等の整備……74,390円
  - ⑤消防・救急業務……38,846円
  - ⑥教育の振興……57,802円
  - ⑦市債の返済……78,195円
  - ⑧その他(議会の運営、防災対策等)……156,478円
- ※令和3年4月1日現在の人口15,229人

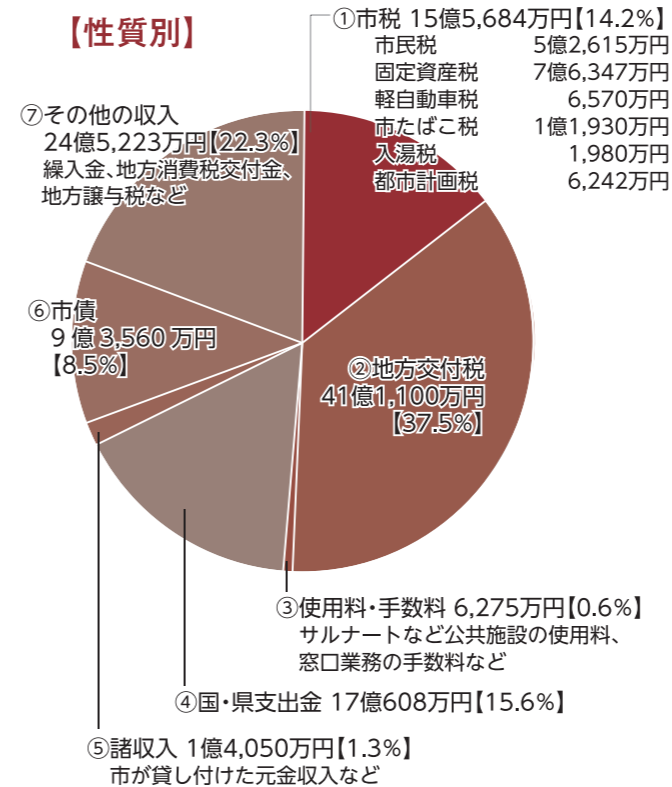
# 尾花沢市 令和3年度 当初予算

## 一般会計予算 109億6,500万円

一般会計とは、市の基本的な行政サービスである福祉や教育、道路整備や除雪などを行うための予算です。

# 歳入

## 【性質別】



## 用語解説

### 歳入

- ◆地方交付税…全国の自治体が一定水準の行政サービスを確保することができるように国が交付するもの。使い道が自治体で決められる普通交付税と特定事業に使い道が限定される特別交付税があります。
- ◆国・県支出金…国、県が使い道を特定して交付するものです。
- ◆市債…道路等の整備など、特定の行政サービスのために国や銀行などから借り入れる資金。

### 歳出【性質別】

- ◆人件費…市長、市議会議員、市職員などの給与や報酬。
- ◆扶助費…生活に困っている人や、高齢者、障がい者の生活を守るための費用で、子育てのための助成金なども含まれます。
- ◆物件費…人件費・維持補修費・扶助費・補助費等以外の、市が支出する消費的性質を持つ経費の総称。(消耗品費、業務委託料など)

## 尾花沢市全会計

# 157億4,106万円

令和3年度は、本市の今後10年間のまちづくりの指針となる「第7次尾花沢市総合振興計画」の初年度となります。新年度予算は、この計画を着実にスタートさせていくための予算としています。また、ポストコロナ社会においては、新しい生活様式の普及に伴いデジタル化が急速に進むことが見込まれることから、スマート自治体の推進に関する事業などに予算を重点配分しました。

徳良湖築堤100周年を記念し、多彩なイベントを開催し、観光地としての魅力を向上させるため「花畑造成工事」と「レストラン徳良湖改修工事」を行います。

若年層の市外流出を抑制し市内への定着を促進するために「奨学金返還支援事業補助金」、「じもと就職応援スタートアップ激励金」を創設します。

高齢者の移動手段に対するサービス向上のため、「おもいやりタクシー券」と「路線バスの無料化」については、「運転免許証返納者助成」に合わせて、対象年齢を引き下げ、65歳以上の方に統一します。

災害時等における住民への情報伝達機能を強化するため、防災行政無線の難聴対策として、今年度は土砂災害危険エリアの希望世帯に対して戸別受信機を無償貸与します。

地域づくりに関する支援事業の拡充と窓口の一本化を行い、きめ細かく対応できるようにします。また、集落公民館の電気水道の基本料金の半額を支援します。

デジタル化へ対応したスマート自治体の推進に関するものとしては、議会における「タブレット導入事業」、マイナンバーカードを利用して全国のコンビニで各種証明書が取得できる「証明書等コンビニ交付導入事業」、証明書発行手数料の支払いを電子決済やクレジット決済で行える「キャッシュレス決済導入事業」等を実施します。